

発疹の出る病気

看護師 岸ひろみ 佐々木寿美子

みずぼうそう（水痘）

水痘・帯状疱疹ウイルスによる病気です。水をもった赤い発疹が、体を中心に、口の中や陰部など全身に出ます。発疹は2～3日でピークとなり、その後乾いて黒いかさぶたになります。平均して1週間ぐらいでよくなります。

＜家庭で気をつけること＞

シャワーで汗を流しておくほうが、かゆみも少なく化膿するのも少ないです。口の中にしてきて痛い時は、しみるものは控えましょう。発疹が赤く腫れて化膿したときや、4日以上熱が続くときは病院を受診してください。

＜保育所・学校＞

発疹が**全部かさぶたになるまで出席停止**です。

手足口病

手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる病気です。おしりや膝にできることもあります。乳幼児の間で流行します。以前にかかったことがあっても、またうつる場合があります。熱はあまりでませんが、時に高熱が出る場合があります。治療しなくても自然に治る場合がほとんどです。

＜家庭で気をつけること＞

口の中が痛い時は、しみないものを与えましょう。

＜保育所・学校＞

熱がなく元気があれば行ってもかまいません。

突発性発疹

ヒトヘルペスウイルスによる病気です。生後4～5か月から1歳ぐらいで突然高い熱を出して3～4日続きます。熱が下がると体中に発疹が出ますが、2～3日で消えます。高熱のため熱性けいれんをおこす場合もありますが、予後は良好です。

＜家庭で気をつけること＞

ミルクの飲みが少ないときは、少しずつ何度も与えましょう。水分が十分にとれるように好むものを飲ませてください。離乳食は食べれるようならいつでもおとりでかまいません。ひきつけをおこしたとき、水分をあまりとらず元気がないときは受診してください。発疹が出るまでは突発性発疹わかりません。高熱が続くときも受診してください。

＜保育所＞

熱が下がって元気なら行ってもかまいません。



りんご病（伝染性紅斑）

ほっぺがりんごのように赤くなるので、りんご病と呼ばれています。太ももや腕に赤い斑点やまだら模様ができます。顔がほてったり少しかゆくなることもあります。熱はあまり出ません。自然に治りますが、かゆみ強い時はかゆみ止めが処方されます。

＜家庭で気をつけること＞

熱い風呂に長く入ると、赤みが強くなって長びくことがあるので、短時間にしましょう。運動で体が熱くなったり、日光に長くあざると、赤みが長びきますので気をつけましょう。

＜保育所・学校＞

頬が赤くなった時は、すでにうつる時期を過ぎているので、登校可能です。

溶連菌性咽頭炎

溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹などの症状がでます。舌はイチゴのように赤くブツブツになります。うつる病気です。のどの検査で溶連菌がいることがはっきりしたら、抗菌薬を10日間飲みます。1日か2日で熱が下がり、のどの痛みも消えます。途中で薬をやめると再発したり、急性腎炎やリウマチ熱などの合併症をおこすことがあります。薬は最後までしっかり飲みましょう。

＜家庭で気をつけること＞

大人もかかりますので、兄弟や両親に同じような症状があれば受診しましょう。

＜保育所・学校＞

抗菌薬を飲み始めてから、24時間以上たっていて元気であれば登校可能です。

咽頭結膜熱（プール熱）

39～40℃の高熱が4～5日続き、のどの痛みが強く、目も赤くなります。さらに、頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともあります。アデノウイルスが原因です。夏にプールを介して学童の間に流行するので「プール熱」の名がありますが、プールに入らなくてもうつります。

＜家庭で気をつけること＞

のどの痛み、高い熱で食欲がないときは、プリン、アイスなど食べやすいものを食べましょう。水分は十分に飲ませて下さい。

＜保育所・学校＞

熱が下がってのどの痛みがなくなったあと、**2日間は出席停止**です。

